

猶興館東京同窓会

「総会・懇親会」についてのご提案

関東地区猶興館昭和57年卒業生幹事会

2015年12月12日

はじめに

まず、猶興館東京同窓会の年次幹事を担当するにあたり提案書作成の機会を設けていただいたことに感謝します。

また、私たち57年卒業生は猶興館東京同窓会に積極的にかかわることもなく、総会・懇親会、親睦ゴルフなど、会の活動にも参加してこなかったことを反省しております。

今回、次期年次幹事担当学年として幹事会様よりお声掛けをいただき、幹事会や若手交流会などを通じて世代間を超えた交流の大切さや諸先輩型の日頃のご苦勞を実感するにつれ、同窓会の特に郷里を離れた東京での同窓会の意義を体感することができたことに重ねて感謝申し上げます。

そこで、これまで東京同窓会を継続されてきた幹事会を始め諸先輩方の献身的な活動や熱意に敬意の念を抱くとともに、微力ながらお手伝いできればと思い、企画書の作成に至りました。

東京同窓会が、これからも猶興館高等学校の卒業生にとって頼もしい灯台の灯りのような存在であり続けることを願い、ご提案させていただきます。

ご提案の内容

- ① より多くの方々に集まっていたくために
～同窓会参加者数増員～
- ② 年金世代・子育て世代にやさしく
～参加費の見直し～
- ③ 世代間交流を促進し、親交・親睦を深める
～積極的な世代間交流～
- ④ より多くの同窓生に情報を届けるために
～多様なインフォメーション方法の活用～

より多くの方々に集まっていたくために

【提案内容 ① -1】 同窓会参加者数増員

参加目標人数 **300名**

若年層参加者を増やし、300名参加規模の総会・懇親会を目指す

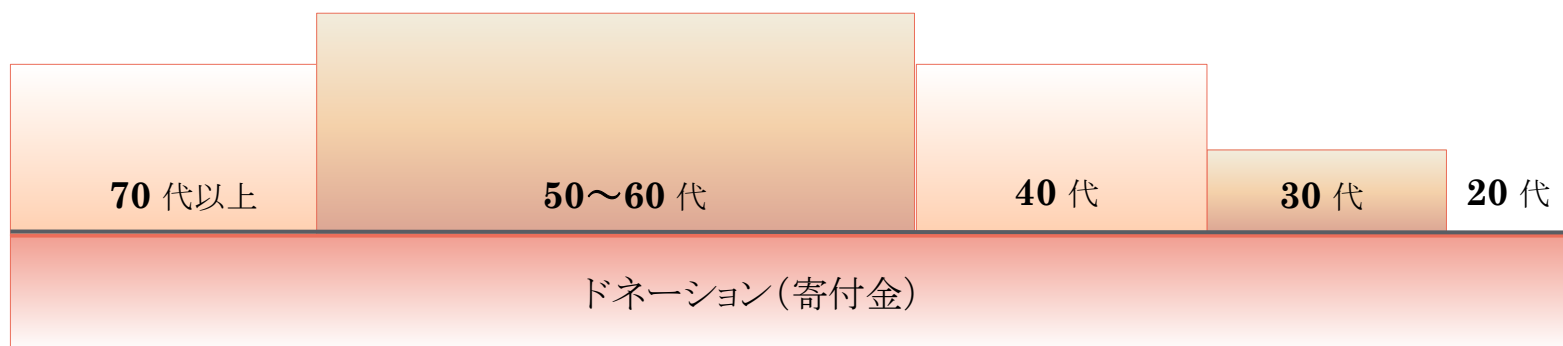
	平均参加者数 (過去5年)	目標参加者数
60歳代以上	156名	160名
50歳代	50名	90名
40歳代以下	5名	50名

【増員方法】 60歳代以上	2～3学年でお一人増やすべく積極勧誘
50歳代	メイン幹事年目標20名、サポート幹事年10名 プレ幹事年10名、他7学年で50名を目標(50年、53年有望)
40歳代以下	若手会にて発掘、3ヶ月で9名参加、後半年で目標半数確保し 友達一人連れてきてもらえればクリア

年金世代・子育て世代にやさしく

【提案内容②-1】懇親会 会費案

《 会費 》	一般会費	7,500円(年会費込み	10,000円)
	70歳代以上、40歳代	5,000円(年会費込み	7,500円)
	30歳代	2,500円(年会費込み	5,000円)
	20歳代	無料(年会費のみ	2,500円)



1. 若年層の参加拡大のため、年代変動制の導入
2. 年金世代の会費軽減
3. 参加者拡大による年会費増加分を充当
4. ドネーション(寄付金)を募る

年金世代・子育て世代にやさしく

【提案内容 ② -2】 懇親会 収支予算 実行プラン

《 収 入 》	目標参加者数	会費	計
70歳以上	60名	5000円	300,000円
50歳、60歳代	190名	7500円	1,425,000円
40歳代	30名	5000円	150,000円
30歳代	15名	2500円	37,500円
20歳代	5名	0円	0円
各種予備費(昨年実行予算より)			258,000円
合計			2,170,500円
《 支 出 》			2,375,874円

※単価昨年実績より300名規模に変更した予算書<別添A>

《 不足額 》 205,374円

※ドネーション、HP広告、配布チラシ広告等で不足額を補う

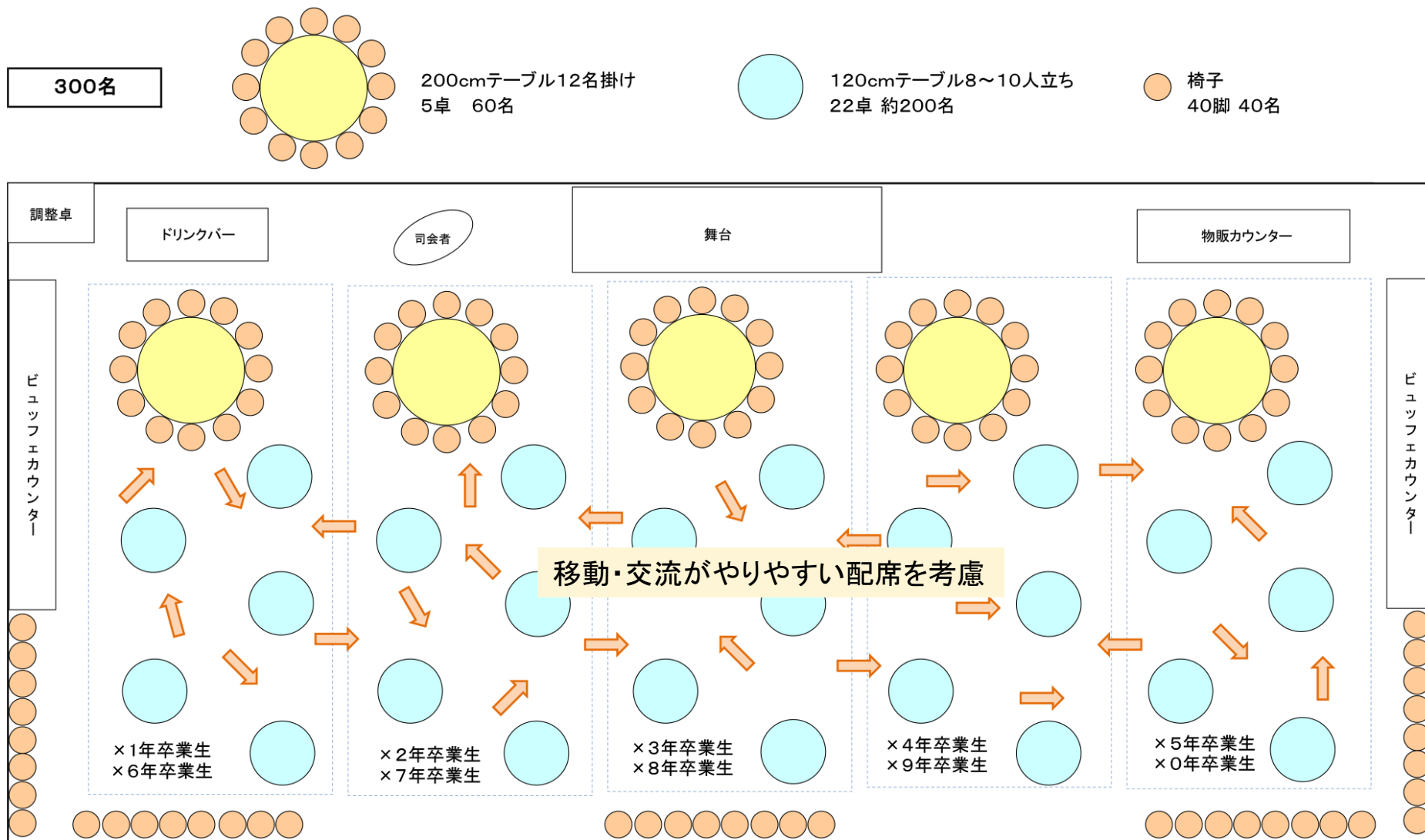
世代間交流を促進し、親交・親睦を深める

【 提案内容 ③ -1 】 積極的な世代間交流

- 世代間交流活性化のため、年代が違う世代を相席とする
- 交流・懇親を主体としたプログラム
 - 懇親会での催し物をなくし懇親時間の拡大を図る
 - BGV的に平戸の映像、猶興館に関する画像・映像を放映
- 幹事・年次幹事は当日、参加者のアテンドに回る
- 懇親会開催中、出身町別・現居住地別・部活別や趣味別等（検討中）、世代間でも興味話題がはずむ集まりに配席転換を誘導
- 物販を外部委託（平戸の業者 or 平戸市）

世代間交流を促進し、親交・親睦を深める

【 提案内容 ③ -2 】 懇親会 席次(案)

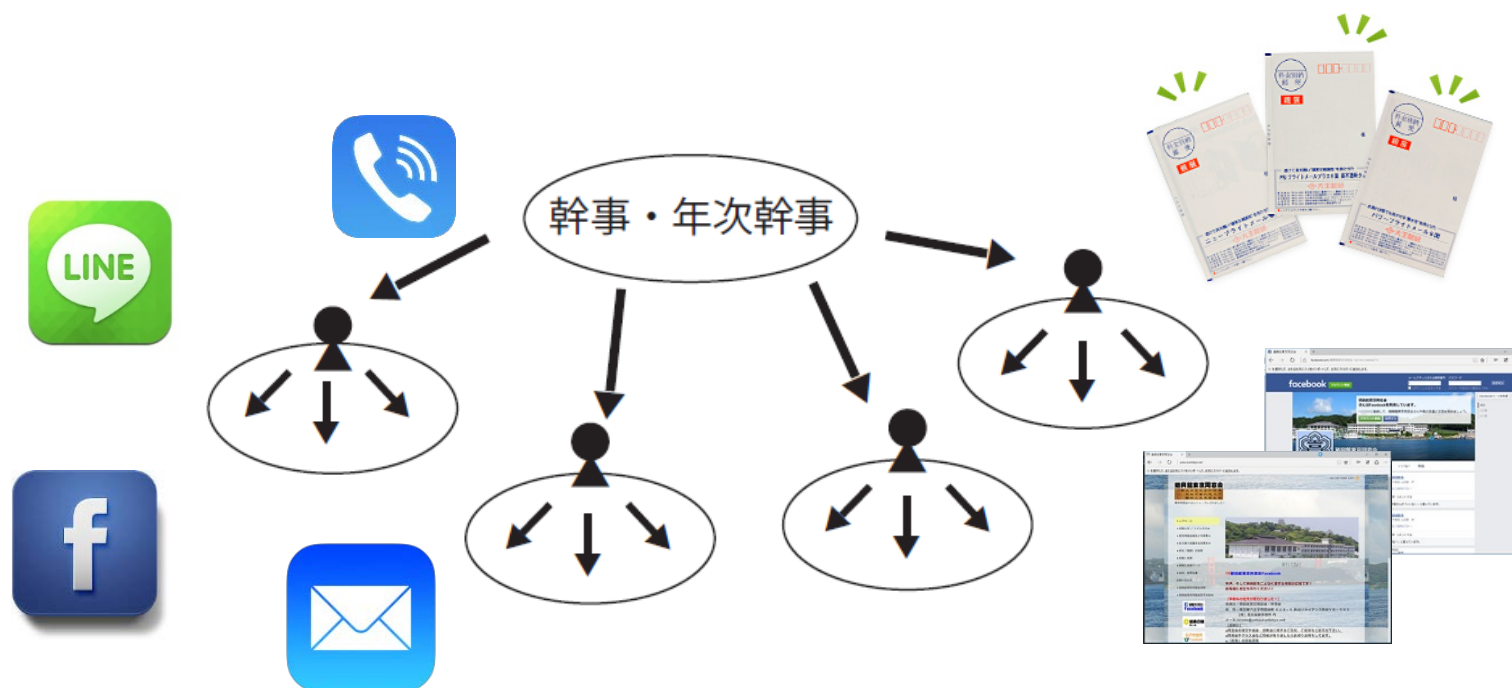


世代間交流がやりやすいように、流動的に動ける配置
年代が違う卒業生が混在するよう、席次を配置

より多くの同窓生に情報を届けるために

【 提案内容 ④ -1 】 多様なインフォメーション方法の活用

- 従来の封書・葉書による案内
- 電話・口頭による案内募集
(年代ごとのキーマンに連絡し、各年代に案内を徹底してもらう)
- ホームページへの告知、フェイスブックを利用した情報拡散、
メールを利用した情報拡散、LINE を利用した情報拡散

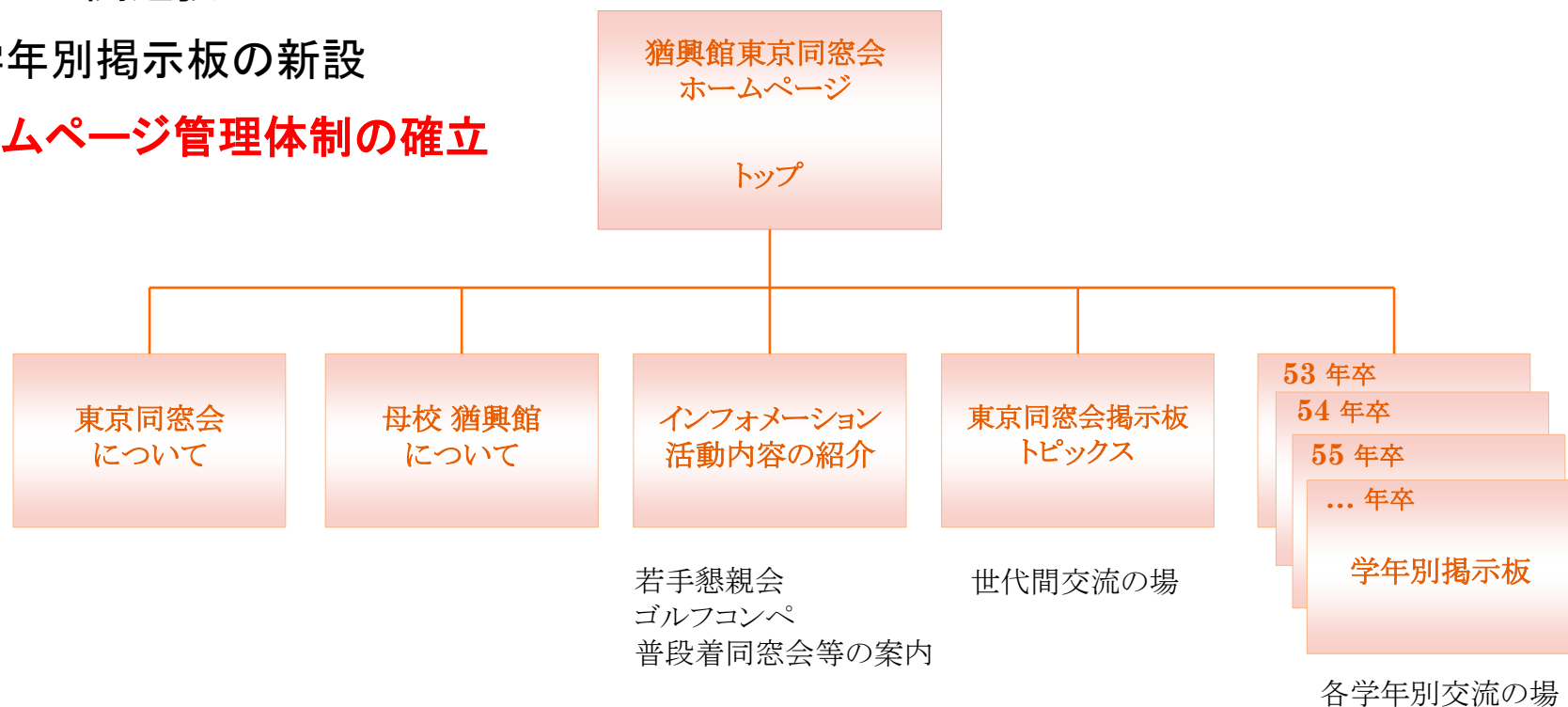


より多くの同窓生に情報を届けるために

【 提案内容 ④ -2 】 利用しやすいホームページへの再構築

《 内容 》

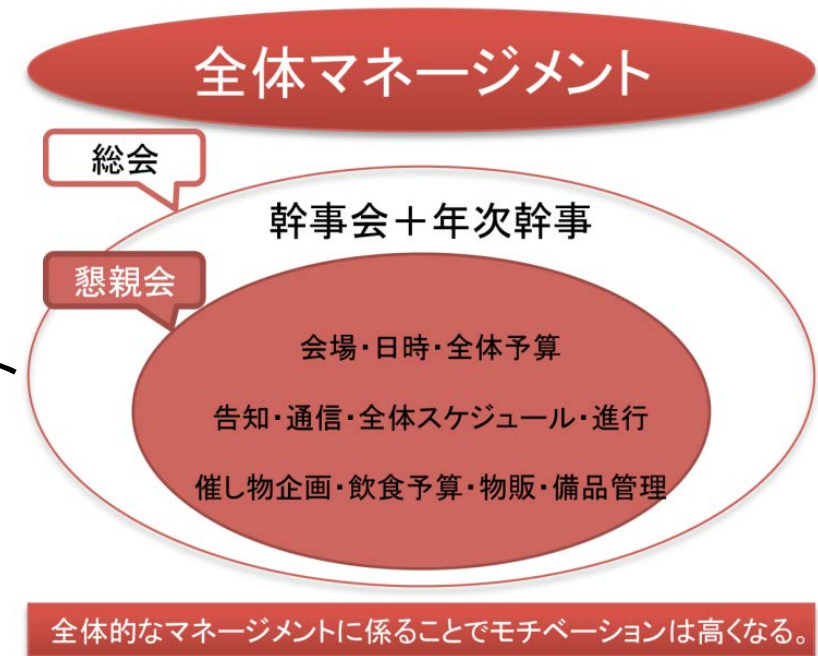
- 簡素化し、見やすく・使いやすいホームページ
- 同窓会会員への案内(インフォメーション)向上
- 総会・懇親会・各種分科会の参加案内及び確認
- 母校との関連強化
- 各学年別掲示板の新設
- **ホームページ管理体制の確立**



年次幹事の全体マネジメントへのかかわり

《 目的 》

1. 同窓会全体の理解
2. 年次幹事としてのモチベーション高揚
3. 総会・懇親会のプランニング及びコーディネート
4. 年次幹事終了後、積極的な会への参加



年次幹事制度について

《 目的 》

- 学年間の結びつき強化
- スムーズな引継ぎ・ノウハウの継承
- 年次幹事の負担軽減



《 役割分担 》

- サポート幹事 プレ幹事・メイン幹事の経験を活かし、メイン幹事を指導・サポート
- メイン幹事 プレ幹事を経て、総会・懇親会の企画・立案・進行を中心となり実施
- プレ幹事 翌年のメイン幹事業務を円滑に進めていくための経験ノウハウを積む

プレ幹事・メイン幹事・サポート幹事として、3年間年次幹事を委任する制度とし運営していく

年次幹事実行体制

《 業務内容 》

- 幹事会の行う、総会・懇親会予算立案・確保の補佐
- 幹事会の行う、総会・懇親会の告知・PR・集客補佐
- 総会・懇親会当日の会場設営・案内・受付
- 懇親会の進行
- 懇親会当日の参加者のアテンド

《 平成28年度 年次幹事組織 》

- 56 年卒 サポート幹事
- 57 年卒 メイン幹事
- 58 年卒 プレ幹事

関東在住の当年該当年度卒業生全体として年次幹事を受託

総会・懇親会運営スタッフ 該当年次幹事より20名程度で運営